

# 胃粘膜シンチグラフィを施行した 食道裂孔ヘルニアの1例

瀬戸 幹人 中田 勉\* 山口 昌夫\*  
勝木 道夫\*\*

## 要 旨

本来はメッケル憩室に代表される異所性胃粘膜の検出に用いられる  $^{99m}\text{Tc}$  pertechnetate による胃粘膜シンチグラフィを、食道裂孔ヘルニア例に施行した。食道裂孔ヘルニアは胸部X線写真のみで診断し得る例もあれば、X線CTや食道透視で発見される場合もあるが、いずれの形態的画像診断法でも横隔膜上の管腔拡大部位が胃である確証は得られない。ヘルニア部位が胃腺分泌機能を有することを胃粘膜シンチグラフィで確認できたので報告した。

## はじめに

食道裂孔ヘルニアは老人では頻度の高い病態であるが、無症状の場合は臨床的に問題にされない場合が多いが、胃粘膜シンチグラフィを施行したという報告は未だかつて無いので紹介する。

## 症例説明

症例：82歳、女性。

主訴：腰痛。

既往歴：特記すべきことなし。

現病歴：骨粗鬆症で加療中であつが、1988年7月胸部X線写真上異常陰影を指摘され、加賀八幡温泉病院へ精査に来院する。

身体所見：特記すべきことなし。

血液検査データ：特記することなし。

## 画像診断のポイント

胸部X線写真左側面像では、心陰影後方にほぼ球形で air を含む niveau を有する腫瘤状陰影を認める (Fig.1)。胸部X線CTでは心陰影後方の腫瘤は下行大動脈を右方へ圧排し、内部は air と食物残渣と思われる不規則な内容物で満たされている (Fig.2)。腫瘤上方は食道と連続し (Fig.3)、下方は一たん腫瘤が縮小した後胃に移行している (Fig.4)。食道透視ではE-C junction および fornix の両者とも胸部へ突出した sliding type と paraesophageal type との混合型の食道裂孔ヘルニアを認めた (Fig.5)。 $^{99m}\text{Tc}$  pertechnetate による胃粘膜シンチグラフィを施行したところ、左側面像で心臓の血液貯留後方ねX線写真での腫瘤影に一致して  $^{99m}\text{TcO}_4^-$  pertechnetate の生理的分泌を認め胃粘膜機能を有することが確認できた (Fig.6)。

## 考 察

胃粘膜シンチグラフィは本来は下血や腸重積の原因としてのメッケル憩室の検出、あるいは Barrett 食道の診断に有用である<sup>1)2)</sup>。食道裂孔ヘルニアの場合は Barrett 食道と異なって形態的变化が大きいため、胸部X線写真、CT、食道透視などで形態診断はつくが、それらの形態診断法ではヘルニアとして見える部位が生理的胃腺分泌機能を有する胃粘膜であるという確証は得られない。よって胃粘膜シンチグラフィを用いてヘルニア部位が胃組織であることを示すことは、食道透視の前に容易に施行可能であ

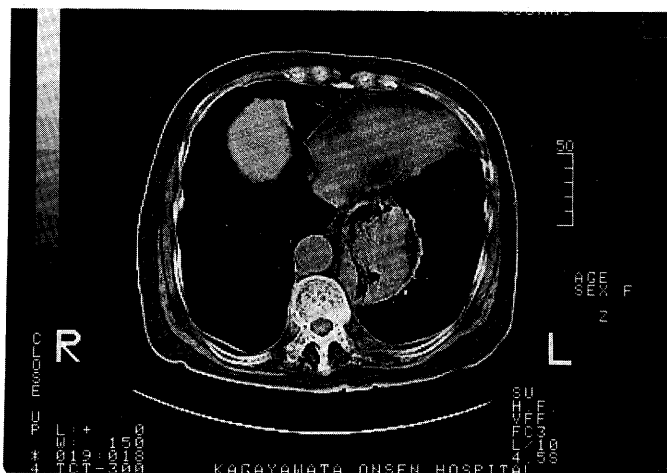
Gastric mucosa scintigraphy in cases with gastro-esophageal hernia

Mikito Seto, Tsutomu Nakada\*, Masao Yamaguchi\* and Michio Katsuki\*\*

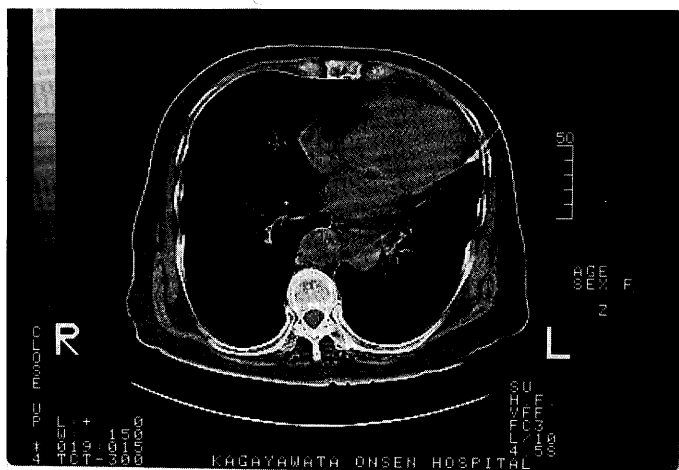
Department of Nuclear Medicine, Kanazawa University Hospital. \*Kagayahataonsen Hospital, \*\*Rojou Hospital  
金沢大学付属病院核医学科 〒920 金沢市宝町 13-1, \*加賀八幡温泉病院 〒923 小松市八幡イ 12-7, \*\*芦城病院 〒923 小松市大文字町 88



**Fig. 1** Chest X-ray film (left lateral view) shows the mass shadow with a niveau just behind the heart.



**Fig. 2** X-ray CT scan of the thorax shows the abnormal mass containing air and the contents of gastro-intestine behind the heart. Thoracic aorta is deviated to the right by the mass.



**Fig. 3** Upper slice of the mass of CT scan shows that the mass and esophagus are linked together.

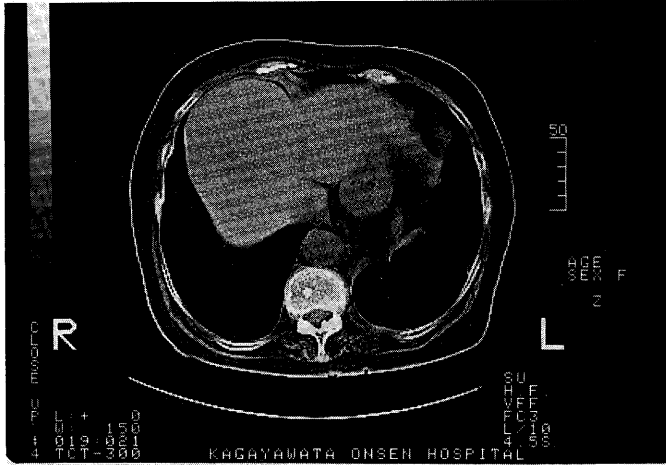


Fig. 4 Lower slice of the mass of CT scan shows that the mass and the stomach are linked together.



Fig. 5 Esophago-contrast radiograph shows the mixed type's gastro-esophageal hernia.

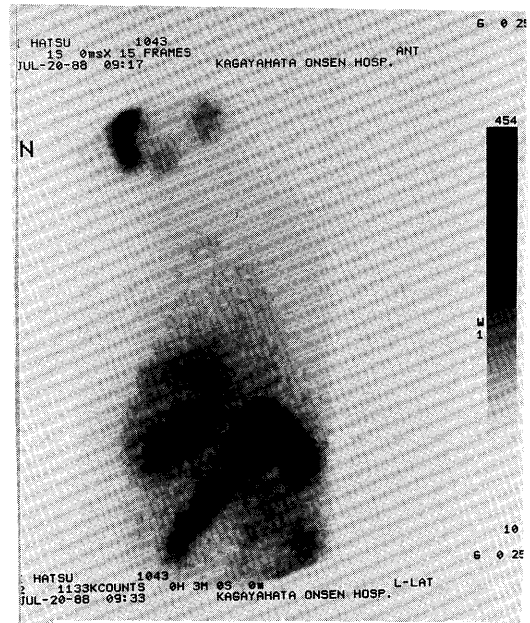


Fig. 6 Gastric mucosa scintigraphy using <sup>99m</sup>Tc pertechnetate reveals that the mass behind the heart has the normal secretory function of gastric mucosa.

り、両画像診断法の併用にて食道裂孔ヘルニアの形態的機能的証明が可能となるであろう。

### 文 献

- 1) Sfakianakis GN, and Conway JJ: Detection of ectopic gastric mucosa in meckel's diverticulum and in other aberrations by scintigraphy: I. path-

physiology and 10-year clinical experience. J Nucl Med 22: 647-654, 1981.

- 2) Sfakianakis GN, and Conway JJ: Detection of ectopic gastric mucosa in meckel's diverticulum and in other aberrations by scintigraphy: II. indications and methods—a 10-year experience. J Nucl Med 22: 732-738, 1981.